

# 製造現場の稼働停止リスクをリアルタイム監視 ネットワークエッジ監視システム



生産エリアは現場任せになっており、実際にどんな機器がつながっているのか把握できない  
稼働停止のリスクがある想定外の異常通信が発生していないか心配

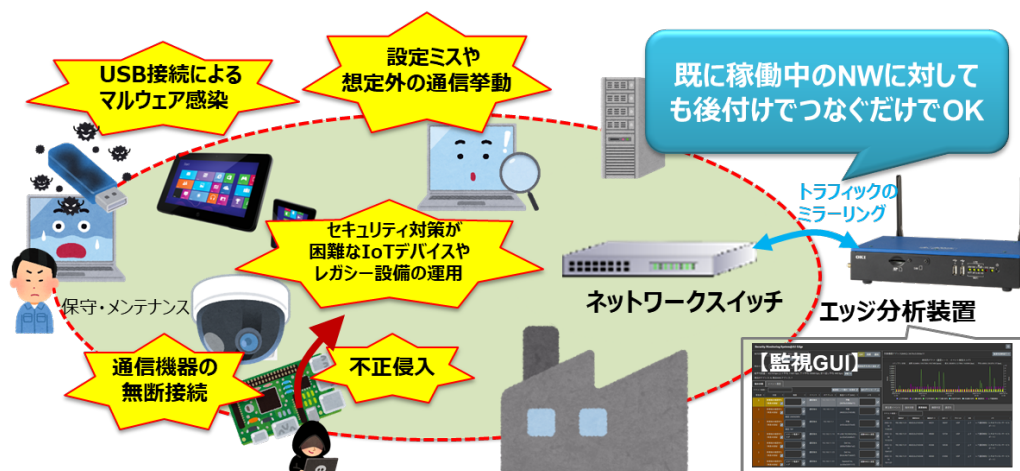
生産計画や稼働中の設備に影響を与えるような新たなシステムの導入は障壁が高い



ネットワークスイッチに分析装置をつなぐだけで、機器とネットワークをリアルタイム監視し、工場稼働に影響を与える“いつもと違う”を早期に検知・通知します。運用中のネットワークに対しても後付けで簡単に導入できます。

## 特長/概要

- 既設のネットワークスイッチにつなぐだけで設置完了し、未許可機器の接続や想定外の異常通信を検知・通知
- 通信トラフィックのリアルタイム分析機能やネットワーク状態を可視化する監視GUIを小型・軽量の装置でオールインワンで提供
- 閉域網への不正侵入やセキュリティ対策が困難なIoTデバイスの接続もいち早く検知し、サイバー攻撃被害を抑制



⇒ トラフィックをリアルタイム分析し“いつもと違う”を早期に検知・通知

## 利用シーン

### 生産エリアネットワークの可視化・リアルタイム監視

- 設備のネットワーク化が進む中で、工場管轄となる生産エリアのネットワーク監視を後付け設置で実現
- OKI沼津工場(2022年2月～)、および、OKI本庄工場(2022年8月～)で実証中
- 今後、海外工場へも展開予定

【生産エリアNWへの接続】



【生産設備(例)】



【新規機器の接続】



【想定外の通信挙動】



### ■ お問い合わせ

沖電気工業株式会社  
技術本部 先行開発センター モビリティIoT先行開発部  
セキュリティ技術チーム

miad-t2@oki.com

### ■ 参考資料

IoTセキュリティエッジ監視技術  
<http://www.oki.com/jp/rd/tt/iotse/>